備探通信　第2号　　昭和59年9月1日（毎月1回発行）

備探通信

編集発行　備陽史探訪の会内
〒721 福山市西深津町7-2-7「備探通信社」
連絡先　0849（21）3940 神谷和孝方
又は　〃　（53）6157 田口義之方

備陽史探訪の会事務局（神谷和孝方）
〒721 福山市西深津町7-2-7 電話 21-3940
古墳研究部会連絡先 山口哲晶方 〃 41-2049
城郭　〃　田口義之方 〃 53-6157
歴史民俗　〃　藤田英夫方 〃 24-6503

古墳研究部会

芦田町古墳調査同行記

8月13日午後5時芦田発！

古墳研究部会は部会内に「芦田町古墳分布調査団」（団長山口哲晶氏）を結成、去8月13日第1回目の実地調査を行なった。

芦田地区は芦田川の右岸（南側）にあたり、今迄調査の手が入っていない所で事情通の間では「穴場」として秘かな関心を持たれていた。

この地区には「備後の特殊石室墳」として有名な宮根田白塚があり、古墳時代終末期のものとして県史跡に指定されている他、備南最古の古墳として話題の「潮崎山古墳」も至近にある等、備南古墳文化の一つの中心と目されながら永く実態不明とされていたもので、わが古墳部会ではその創部当初よりその解明を目標の一つとしていたもの。

8月13日、朝9時30分、山口団長以下勇やくして福山を出発、まず同町下有地の正満寺を目ざした。この寺は附近古墳群よりの出土品収蔵で知られ、背後の山中には「矢部迫古墳群」が存在するという。しかし、余りにも立派な寺院であったため"手ぶら"ではしょうこと見学を断念、背後の山中に入る。

山中はなかなかの調子ならばと全員期待したが、入山直後から"ヘビ"が連続して視界に出現、それを避けて進むうちに全く関係ない下有地の中心市街に出てしまった。

というわけで午前中は成果なし、午後は佐藤一夫部会長も合流して気分一新、7時10分芦田支所前を出発、午前中の失敗にこりもこりず、今度は情報を仕入れるのが先と、土地の郷土史家河村洋さんのお宅に、ここで30分位話し込んでいるうちに早くも団員の顔に疲れの色が、そこで河村さんの案内で「古墳」より、その「出土品」に重点目標を移し収蔵者を尋ねることに決定。同町柞原の津田正史、河村作一氏の両家を訪問、附近古墳より出土した「須恵器」を見学。ジュースなどのもてなしを受け、午前中とはえらい違いである。冷たいもので同行記者もホッとしたが、そうこうするうちに時計の針は4時を指している。いやはや暑い一日であった。（あ）

第22回歴史談話会

- 9月16日(日)午後2～4時
- 福山城"湯殿"
- テーマ「吉田松陰」
- 講師　薬田東國（松陰研究家）
- 会費　200円（一般300円）
- 参加自由（その場御来場）

第21回歴史談話会

無事行なわれる！

去8月26日福山城湯殿において31名の参加者を得て無事行なわれた。

最高気温34度という暑さにもかゝわらず、参加者は定刻（2時）の30分も前から続々来場、田口氏の熱弁（志川隆山合戦について）に暑さを忘れて聞き入っていた。

山城志 第7集

～さんじょうし～ 売切れ近し

絶賛発売中！！

内容
- 福山市加茂町の古墳出土資料について　佐藤一夫
- 県北の山城　新田隆太郎
- 備前山城宮氏について　田口義之
- 続三子山城物語　武島種一
- 三原史跡めぐり　木森清司
- 《資料紹介》渡辺先祖覚書

◎B5版 ◎38ページ ◎図版1ページ

お求めは書店又は本会行事会場にて

一部800円

郵送希望の方は　送料共1000円を
〒720 福山市多治米町9/6 田口義之宛
お送り下さい。《問い合せ》0849（53）6157

残暑お見舞申し上げます。

昭和五九年九月

福山市新浜町一一二

七森義人

尾市古墳は八角墳か？

去7月23日から行なわれていた「尾市古墳」（芦品郡新市町）の発掘調査は8月14日無事終了した。今回の発掘はその墳丘の型式に興味が集中した感もあったが、見出しのように「八角墳」の可能性が出て来たため、被葬者の性格をめぐって新たな論議を呼びそうである。

※八角墳…現在まで数例しか発見されておらず、それも全て天皇陵クラスの終末期古墳である。

第18回古墳講座

・時…9月12日（水）午後7～9時
・所…県立福山青年の家和室
・テーマ『芦田川流域の古墳文化』No.7（横穴式石室）
・参加自由、無料

城郭研究部会

目標は『遍照寺山城跡』

城郭研究部会は、このたび本年度の調査計画を発表した。それによると調査目標は深安郡神辺町大字東中条に所在する「遍照寺山城跡」で10日から予備調査に入り、来春までには「実測図」を公表したいとのこと。

又、本会の12月例会は城郭部会の当番になる可能性があるため、その場合は、一般会員に遍照寺山城跡の実測調査に参加してもらい「今迄の例会とはひと味違ったものにしたい」と田口部会長は語っている。

なお、城郭部会では調査を成功させるため、今月より行なわれる古墳部会の古墳実測調査に参加し、実測技術を修得する予定である。

◎部会員募集――城郭研究部会に入部希望の方は左記へ。
〒720 福山市多治米町9/16 TEL0849(53)6467 田口義之

9月勉強会（歴史民俗部会）

・時…9月26日（水）午後7～9時
・所…県立福山青年の家「和室」
・テーマ『武家の「天下草創」』
・参加自由、無料

古墳研究部会 実測調査へ

―目標は正福寺裏山古墳群―

古墳研究部会は今月より「正福寺裏山古墳群」（福山市加茂町）の実測調査を行なう。この古墳群は前方後円墳二基によって構成されているといわれているが詳細は不明で、その解明が今回の調査目標である。調査は篠原芳秀氏の指導で行なわれ、「どこに出してもはづかしくない」実測図を作成したい（山口氏談）とのこと。

なお、調査は9月8、9日の両日を利用して行なわれる。参加希望者は山口副部会宅へTELを。0849(41)2049 山口哲昭方

市教委からのお知らせ

歴史講座 人物でつづる福山の歴史

参加者募集

◎期間 9月29日～11月24日の隔週土曜日 午後2時～
◎ところ…中央公民館
◎申し込み方法…備陽史探訪の会々員は神谷会長宅へ、はがきに住所、氏名、電話番号を記入して申し込んで下さい。
〒720 福山市西深津町クーネ7
神谷和孝方
◎申込期限 9月10日

（歴史講座日程）

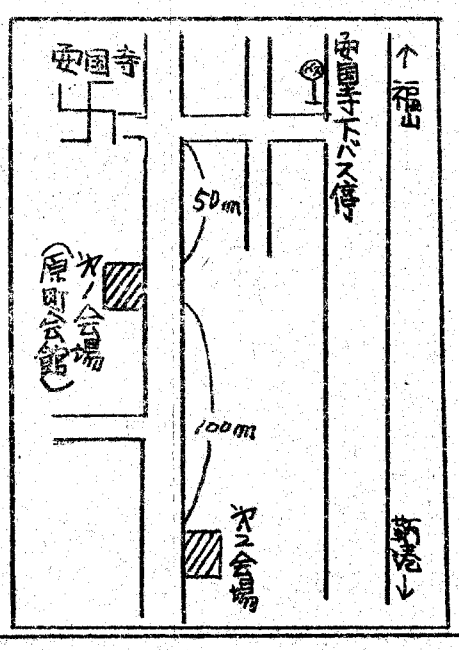
月日	演題	講師
9/29	義倉と河相周兵衛	教育史編さん室 藤井正夫
10/13	福山地方を詠った万葉歌人	広大名誉教授 松田芳昭
10/27	備後がすりと曽田久三郎	福山繊維工業試験場長 神立均
11/10	神谷治郎とそれをめぐる人々	福山文化財保護委員 平井隆夫
11/24	沼田次郎の啓蒙思想	広大教授 青野春水

情報コーナー

◎身近な情報をお寄せ下さい。備探通信社まで

第3回鞆歴史民俗資料紹介展

◎主催 鞆歴史民俗資料調査専門委員会
同 推進委員会
◎所 原町会館（左ト図）
◎期日 9月15日10時～22時
16日9時～12時



備陽史探訪の会

10月行事予定

・10月7日（日）「第23回歴史談話会」
映画『新平家物語』
・10月14日（日）「10月例会」
『鞆の歴史を訪ねて』

投稿歓迎！何でもお寄せ下さい。
〒720 福山市多治米町9/16 TEL0849(53)6467 田口義之まで。